

今年度も“最高”の姿で

令和3年度も、感染症に関わる厳しい状況と向き合う日々が続きました。当たり前に登校することがなくなかったこともありましたが、予定していた行事が行えなくなったり、かたちを変えて行わざるをえなくなったりしたこともありましたが、子どもたちは、そのときそのときでできる“最高”を目指し、“最高”に懸命に、“最高”に楽しみ、“最高”の笑顔を広げました。この“最高”の姿は、まさに、学校教育目標「進んで学び 学びを深め 学びを 活かす子ども」を体現している姿です。

今年度も、厳しい状況と向き合うことが多々あることでしょう。けれども、子どもたちは、必ず、“最高”の姿で、難局を乗り越えていくと信じています。

あふれる あいさつ
未来へ はばたけ
最高の 西寺尾魂 2022!

〈令和4年度児童会スローガン〉

学校教育目標「進んで学び 学びを深め 学びを活かす子ども」

本校では、学校教育目標「進んで学び 学びを深め 学びを活かす子ども」の実現を目指して教育活動を行っています。子どもが「学ぶ」ということは、子どもが「生活する」ことそのものを意味しています。子どもは、様々な「人・もの・こと」との出会いに心動かされ、自ら関わります。繰り返し関わり、「人・もの・こと」、そして、自分自身への認識を深めます。深まった認識を意欲や自信に変え、自らよりよい生活を創りだしていきます。言い換えれば、本校では、まさに、“豊かに生きる子ども”を育むことを目指していると言えます。今こそ、この難局に立ち向かい、“豊かに生きる子ども”を育むことが求められています。

育てたい資質・能力「自分づくりの力」

「進んで学び 学びを深め 学びを活かす子ども」を育むことを実現するためには、「自分づくりの力」を育てることが大切だと考えています。「自分づくりの力」とは、「自分の生き方をつくりだす力」ととらえています。「自分の生き方をつくりだす」とは、「人・もの・こと」との出会いを大切に、「感じる・つくる」という営みを積み重ねることで、自分のよさや可能性に気づき、現在及び将来における自分自身の在り方に夢や希望をもち、前向きに「生きる」ことだと考えます。

本校では、「自分づくりの力」を具体化して、「課題解決の力」「出会いに感謝する・感動する心」「他者・自分を大切にしようとする態度」「自分らしさを発揮しようとする態度」として、一人ひとりの子どもが身に付けられるように指導・支援します。

「自分づくりの力」を育み、「進んで学び 学びを深め 学びを活かす子ども」を実現するために、学校・家庭・地域で、強く厚く連携してまいりたいと思います。

本校の教育活動へのご理解・ご協力のほど、

どうぞよろしくお願い申し上げます。



〈西寺尾二丁目公園のコブシの花〉